

# 三重教務所通信

2024

7月号



発行人:三重教務所長 長澤 隆司  
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00  
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010

✉ 三重教務所 E-mail [mie@higashihonganji.or.jp](mailto:mie@higashihonganji.or.jp)

桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



## ○「令和6年能登半島地震」における三重教区の救援金について

下記のとおり救援金をお寄せいただき、第2次締切分として宗派救援金口座に送金させていただきました。温かいご支援をいただきました御寺院並びにご門徒の皆さまに厚く御礼申し上げます。

**救援金総額 18,519,459 円 (6月17日現在)**

なお、教区としての勧募は締め切らせていただきましたが、宗派救援金口座は開設されていますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

【救援金口座】郵便振替口座番号 00920-3-203053 【加入者名】真宗大谷派

※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。

### 本山より

令和6年能登半島地震に対し、全国から総額210,936,572円(6月18日現在)の救援金が宗派に寄せられました。

お寄せいただいた救援金は災害救援本部会議にて1回目の給付として特に甚大な被害のあった能登教区に2億円、新潟教区に100万円、富山教区に100万円、金沢教区に500万円給付することが決定しました。

## 三重教区慶讃事業の取り組み

6月18日に第3回目となる「三重教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業推進委員会」が開催されました。

まず、先般の教区門徒会(臨時会)において、新しく柴田徹教区門徒会長が就任したことから、当委員会副委員長について、林恒男氏(前教区門徒会長)から柴田徹氏への交代が承認されました。

委員会では、教区慶讃事業計画について協議を重ね、このたび「三重教区・桑名別院慶讃事業計画書

(骨子)」を作成いたしました。現時点では詳細まで確定していない状態ですが、当事業は教区内211カ寺に関わる全ての人の参加型事業を目指しており、どこまでも広く意見



を聴取し、教区全体の願いを共有したうえでの事業計画書を策定していきたいという願いから、「慶讃事業計画書（骨子）」に関するアンケートを実施することを決定しました。（当通信に同封している書類をご確認ください。）

また、男女平等参画の実現に向け、新たに教区内の女性（僧侶・門徒）に教区慶讃事業へ参画いただく方針を確認しました。

## 三重教区からのお知らせ

### ○教化委員会(総会)開催

6月17日に教化委員会(総会)を開催しました。

協議内容は、①2023年度教区教化事業報告、②2024年度教区教化事業計画(案)。報告では、教化委員会と各諸団体から、今年度教区内で実施した事業について全体で確認しました。

教化委員会の事業については、「教化事業構築のための学習会」を全6回開催し、ゼロベースから教区教化事業を構築するために、教化委員自らが環境分析を通じた学習を行いました。この学習を基に、教区慶讃事業として取り組みを進めている教化事業の見直しについて、今後更なる協議が行われます。

2024年度の教区教化事業計画(案)につきましては、本年度の基本方針「(1)1カ寺1カ寺の活性化・本来化、(2)次世代への教えの継承、(3)現代社会に即した教化の発信」を基に研修を行います。また、「是旃陀羅」問題に関する取り組みとして、「差別と人間を考える協議会」と「三重教学研究室」が中心となり、関係機関とも連携を図りながら、継続的な学習の場を開く取り組みの方向性について協議を進める予定です。



### テレフォン法話の休止について(お知らせ)

このたび、1983年から41年間、教区の皆さまにご聴聞いただきました「テレフォン法話」は、本年6月30日をもって配信を休止させていただきますのでお知らせします。

現在取り組みを進めている「教区教化事業の見直し」の一環で、「現代社会に即した教化の発信」について、従来の電話による配信方法を見直し、インターネット等を活用した教化を試むものであります。

つきましては、「テレフォン法話」の事業は休止となりますが、「東本願寺 三重教区 公式note」にて、これまでの「テレフォン法話」をアーカイブとしてご聴聞いただけますので、ぜひご活用ください。

「東本願寺 三重教区 公式note」 →



## ○「同朋ジュニア大会」開催のお知らせ

本年も同朋ジュニア大会（主催：児童教化連盟）を開催いたします。  
今年朝明ヒュッテでの開催となります。キャンプファイヤーやカレー作りなど、楽しい企画がいっぱいです！  
みんなで夏の思い出をつくりませんか？

- 🍉 期 間：8月19日（月）～20日（火）
- 🍉 会 場：朝明ヒュッテ
- 🍉 対 象：小学校3年生から中学校3年生
- 🍉 募集人数：30名
- 🍉 テーマ：「あなたになった日」
- 🍉 参加費：6,000円



詳細は同封のチラシをご覧ください

## ○見連スタッフが子ども会のお手伝いをします！

児童教化連盟では子ども会の巡回と称して、子ども会のお手伝いをさせていただいております。具体的な内容はレクリエーションや手品、法話などなど。

単に子ども会のお手伝いと申しましても、私たちはその中でレクリエーションなどの実践的なことから小さい人たちとどう関わっていくのかということ学ぶ大切な教化研鑽の場として頂いてきました。

是非、その機会いただけることをお待ちしております。

また、これから子ども会を始めていきたいという方のご連絡も併せてお待ちしております。  
詳細は本通信同封のチラシをご覧ください

(児童教化連盟委員長 河村論)

## Dialogue (ダイアログ・対話) — 教区教化委員会報告 —

### ○ 教区坊守会—真宗門徒の集い—

6月19日(水)藤場芳子氏(金沢教区常讃寺)をお招きし、桑名別院本堂にて「真宗門徒の集い」を開催しました。(参加者83名)

『私が私であるために』を講題に掲げ、「在家仏教ということについて—痛みに向き合い自分らしく生きる—」をテーマに、ご自身の体験を踏まえながら穏やかな口調でお話いただきました。

「寺族と在家、住職と坊守、男と女」それらの差別(違い)は周りや自分自身の単なる固定的な思い込みであり、実はそこに差はないという事。人はそれぞれ役割があり、自分に合った役割で生きていくことが大切であるという事。世の中は刷り込みや固定概念に溢れているという事。今を生きる我々にとって日々の生活に寄り添うご法話であり、自分自身を再度見つめ直すきっかけとなりました。(坊守会役員 安田利恵)



6月24日（月）教区坊守会役員会を開催しました。

最初に、6月19日（水）開催の『真宗門徒の集い』についてアンケートの集約結果を共有しそれぞれの担当の反省をしました。その後7月16日（火）開催予定の坊守会総会の資料の確認や当日の役割分担を決めました。そして「坊守会だより」については、6月末日の発行を目指して、内容やページ割など書記を中心に話し合いました。

2024年度の事業については、第1回坊守講座を10月21日（月）に尾畑潤子氏（員弁組泉称寺）を講師としてお迎えすることを決定しました。また、以前から高いと指摘を受け続けていた教区坊守会費については、事業などの見直しを行い、次年度からの値下げを検討し、その内容を今後委員会及び総会に諮る予定です。

今後の予定 7月 1日（月）10：30～12：00 教区坊守委員会 午後 役員会  
7月 8日（月）13：00～ 教区坊守役員会（予備日）  
7月 16日（火）13：00～ 教区坊守会総会

記念講演は折戸沙紀子氏（南勢1組法受寺）

## ○ 教学研究室

6月7日月例会が開催され、研究員5名が参加。室長講義の後、2024年度事業計画についての協議を行いました。特に2018年度から継続している「是旃陀羅」問題学習の内容では、2023年5月『学習冊子 是旃陀羅問題について』発行、2024年1月『是旃陀羅問題学習テキスト 御同朋を生きる』発行、同年2月開催「是旃陀羅」問題学習会第5回（講師：宮下晴輝師）、同年5月「差別と人間を考える協議会」主催「是旃陀羅」問題に関する学習会（講師：中山量純解推本部員）、宗派主催「各教区教学研鑽機関交流会」（講師：宮下晴輝師、藤嶽室長、高科主任出席）の一連の経緯、趣旨を踏まえ検討しました。

「是旃陀羅」の語を含む『観経』序分を内容とした『現代の聖典』を、約50年間主要テキストとして教区教化活動を展開しながら、「是旃陀羅」の語を課題化することが出来なかった現在点に立ち、改めて『観経』を読み直す意義とその視点をテキスト『御同朋を生きる』第三章に中心をおいて、「差別と人間を考える協議会」常任委員と共に学習する機会を、充実する方針を確認することとなりました。

## 事務見習の教務所実習について

6月19日から7月25日まで、今年、宗務所へ入所した新入職員（事務見習）が三重教務所で教務所実習を行っています。

名前は、藤波 龍曇（ふじなみりゅううん）です。

所属寺は 三重教区員弁組善正寺です。

教務所にお越しになられたときは、声を掛けてくださいね。



## 今月の法語

有名無名の球児たちがボールを捨て バットを捨て  
海に 野に 空に 若い命を散らせたことを 若者は知らない  
若者よ 野球の出来る時代はいい  
若者よ 野球の出来る時代はいい

阿久悠「八月十五日の青春」『甲子園の詩』(抜粋)

### 晴耕雨読 (教務所員から)

書記：竹田 彩子

日が長くなり高校球児が甲子園に向けて練習する音が聞こえる季節になりました。

ちょっとだけ野球に興味をわいたこの頃、何気なく見ていたスマホに、先月13日の北海道日本ハムファイターズと中日ドラゴンズの交流戦で、ファイターズ本拠地エスコンフィールドのスタッフからドラゴンズファンに向けてのメッセージが映しだされました。

ナゴヤドーム(現バンテリンドームナゴヤ)は、『平和の大切さ』を重んじる素晴らしい球場です。日本のプロ野球は今年で90周年を迎えますが、その歴史の中で唯一休止したのは1944年。太平洋戦争の時でした。当時、現在のナゴヤドームが建つ場所には工場があり、空襲により300人以上の尊い命が奪われました。その中には多くの女性や学生も含まれていました。

ナゴヤドームには『平和への礎となられた人々を決して忘れず、野球やコンサートなどを通して感動を味わうことができることに深く感謝し、ここにご冥福をお祈りいたします』と刻まれたプレートが掲出されています。われわれもこの言葉を胸に、日々プロ野球が開催できること、多くの皆様にご観戦いただけることへの喜び、そして、先人のお陰で歴史を重ねていけることに感謝し、今後も、皆様と共にプロ野球界の発展に努めて参ります。

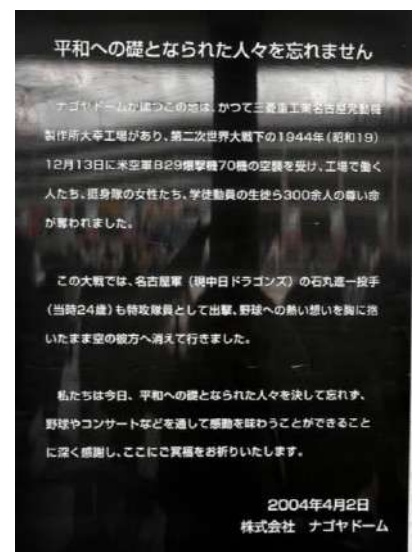
この空襲では東邦商業学校(東邦高校の前身)の生徒・教員20名も犠牲になり、「にぎやかな場所で平和を訴えたらいいのでは」という高校生の発案によりドームに設置されました。

東邦高校は1941年に選抜大会で優勝しましたが、翌1942~46年の大会が戦争で中止となり、返還できなかった優勝旗を戦火の中で守り抜き、戦後に返還した歴史を持ちます。

そして、2019年にも選抜大会で優勝を果たしましたが、翌20年は新型コロナウイルスより大会が中止。再び優勝旗を返還できない事態に遭遇しながらも「先輩たちが優勝旗に込めた一球・一打への思い」を守り無事返還しました。

2021年に再開された選抜大会の開会式では、野球ができる「当たり前だと思える日常は誰かの努力や協力で、成り立っているということだ」と選手宣誓にありました。

当たり前を楽しめる日常がこれからも続いて欲しい...  
さあ暑い夏が始まる。



バンテリンドーム総合案内所横に掲出してあります。  
観戦の際にぜひご覧ください。



日	曜	行事内容
1	月	坊守会委員会 10:30-
2	火	
3	水	寺院活性化支援員基礎講習 13:30-
4	木	
5	金	
6	土	南勢1組特伝本講座⑥13:00-(於:常照寺)
7	日	
8	月	教区監査 10:30-
9	火	内務委員会 14:00- / 三重教学研究室 運営委員会 15:00-
10	水	出版委員会 15:30-
11	木	寺院活性化支援会議 13:30-
12	金	教区同推協総会 9:30- / 合唱団「ひかり」総会 11:00- 練習 13:00-
13	土	
14	日	暁天講座(~18日まで)
15	月	
16	火	坊守会総会 13:00-
17	水	教区会参事会 13:30-
18	木	教区門徒会常任委員会 13:30- / 野球部練習 19:00-(於:北勢中央公園野球場)
19	金	
20	土	中勢1組特伝本講座⑥13:30-(於:託縁寺)
21	日	
22	月	同朋ジュニア大会準備①10:00-
23	火	
24	水	教区会通常会 13:30-【予定】
25	木	教区門徒会通常会 13:30-【予定】
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	教化機構検討部会 13:30-

同封書類

- ① ご坊さんだより
- ② 慶讃事業計画書(骨子)関係書類
- ③ 同朋ジュニア大会 チラシ
- ④ 子ども会巡回チラシ
- ⑤ 合唱団「ひかり」団員募集チラシ
- ⑥ 同朋大学仏教文化研究所史料展示チラシ

7月以降(4ヵ月)の行事予定は、ホームページで公開していますのでご確認ください。

QRコードはこちら➡



三重教区野球部からのお知らせ

下記の通り練習を行います。野球経験は不問ですの、どなたでもお気軽にご参加ください。

練習日 7月18日(木) 8月8日(木)  
8月28日(水) 9月4日(水)  
9月30日(月) 10月10日(木)

時 間 各 18:50~21:00

場 所 北勢中央公園野球場

四日市市西村町 1080

※東海連区野球大会

10月17日(木) 大垣教区当番  
場所未定